

J-オイルミルズの事業とESG経営

当社は、これまで培ってきた独自の強みを活かし、事業を通じて課題解決に貢献し、さらには新たな価値を提供することでSDGs達成に貢献していく考えです。国際社会の成長とともに増大するリスクへの対応・適応力を強化するため、バリューチェーン全体でマテリアリティ(重要課題)に取り組み、事業活動による負の影響を最小化するESGに配慮した経営を推し進めていきます。



外部リスク要因

Ⓔ 天候／気候変動による生産量や作柄への影響

Ⓔ Ⓔ Ⓔ 仕入れ価格は国際相場に連動

Ⓔ Ⓔ Ⓔ 食糧需要、生産量、作柄、投機資金は国際相場に影響

Ⓔ Ⓔ Ⓔ 為替レートは原料・燃料コストに影響

【国内】

Ⓔ 低価格志向 ▶ 採算変動への対応の必要性

Ⓔ 人口減・少子高齢化 ▶ 需要減の可能性

Ⓔ TPPの影響 ▶ 廉価な畜産品の流入の可能性

畜産農家からの配合飼料需要減、それによるミール需要減の可能性 ▶ 需要減への対応の必要性

【国外】

Ⓔ 新興国の人口増加・所得拡大 ▶ 新興国の食肉需要増大 ▶▶ 飼料原料としてのミール需要増

Ⓔ 人手不足

Ⓔ 物流コストの上昇

Ⓔ 環境規制

Ⓔ 少子高齢化／成熟市場

Ⓔ 競争の激化

Ⓔ 低価格志向

Ⓔ TPPの影響

社会からの要請・期待

Ⓔ 人権や環境に配慮したCSR調達の履行

Ⓔ 持続可能な資源の利用(フードロスの抑制)

Ⓔ 環境負荷の低減(CO₂排出量の削減、プラスチック使用量削減)

Ⓔ 食の安心・安全

Ⓔ 安定供給

Ⓔ 品質管理

Ⓔ 社会課題の解決に資する製品の開発

Ⓔ 物流の効率化

Ⓔ 輸送にかかわる環境負荷・汚染の低減

Ⓔ Ⓔ 製品に関する適切な情報の提供

J-オイルミルズの取り組み

原料の調達

- パーム：農園までのトレーサビリティ向上・認証油供給体制の強化
- 大豆：サプライチェーン把握のための情報収集
- サプライヤーへのESGマネジメント体制構築

搾油・製造

- 製品開発における環境ガイドライン方針策定
- トランス脂肪酸低減の情報開示、さらなる低減に向けた製品開発
- サステナブルな製品開発

物流

- 「物流ハンドブック」の作成による社内の理解促進

販売先

- 顧客の作業負荷抑制
- 油脂の健康価値提供
- 顧客、消費者とのコミュニケーション(お客様相談室の活動、お客様の声の反映)

事業全体

- TCFD提言への賛同、気候変動のリスクと機会の特定、開示
- 国連グローバルコンパクトへの署名
- 人権デューデリジェンスの実施と優先すべきリスクの特定・対応開始

SDGsへの貢献

